LIGHT



ジョン・プレット《ドーセットシャーの崖から見るイギリス海峡》(部分)1871年　油彩/カンヴァス　Photo:Tate

テート美術館展 光

ターナー、印象派から現代へ

LIGHT
Works from the Tate Collection

開場時間:10:00–17:00(入場は16:30まで)
休館日:月曜日(ただし、1月8日は開館)、12月31日、1月1日
会場:大阪中之島美術館 5階展示室

主催　大阪中之島美術館、テート美術館、日本経済新聞社、テレビ大阪、京都新聞、神戸新聞社
協賛　岩谷産業、大林組、SOMPOホールディングス、ダイキン工業、DNP大日本印刷、
　　大和証券グループ、三井住友銀行、三井不動産
協力　日本航空、フィナンシャル・タイムズ
後援　ブリティッシュ・カウンシル

大阪中之島美術館
NAKANOSHIMA MUSEUM OF ART, OSAKA

2023.10.26(木) — 2024.1.14(日)



ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー
《光と色彩（ゲーテの理論）
――大洪水の翌朝――創世記を書くモーセ》
1843年出品
油彩/カンヴァス
Photo:Tate

テート美術館展 光

ターナー、印象派から現代へ

LIGHT
Works from the Tate Collection

世界巡回、大阪でフィナーレ！

本展は2021年から中国、韓国、オーストラリア、
ニュージーランドと世界巡回している大規模展で、
日本が最終会場となります。

「光の画家」ターナー

本展は、英国・テート美術館のコレクションより「光」をテーマに作品を厳選し、18世紀末から現代までの約200年間におよぶアーティストたちの創作の軌跡に注目する企画です。「光の画家」と呼ばれるジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナーや風景画の名手ジョン・コンスタブルといった英国近代美術史を彩る重要な画家たちの創作、クロード・モネをはじめとする印象派の画家たちによる光の描写の追求、モホイ＝ナジ・ラースローの映像作品やバウハウスの写真家たちによる光を使った実験の成果、さらにブリジット・ライリー、ジェームズ・タレル、オラファー・エリアソン等の現代のアーティストによってもたらされる視覚体験にまで目を向けます。
本展では、異なる時代、異なる地域で制作された約120点の作品が一堂に会し、各テーマの中で展示作品が相互に呼応するようなこれまでにない会場構成を行います。絵画、写真、素描、キネティック・アート、インスタレーション、さらに映像等の多様な作品を通じ、アーティストたちがどのように光の特性とその輝きに魅了されたのかを検証します。

英国・テート美術館からおよそ100点が日本初出品

ジョン・コンスタブル
《ハリッジ灯台》1820年出品?
油彩/カンヴァス
Photo:Tate

「風景画の名手」コンスタブル



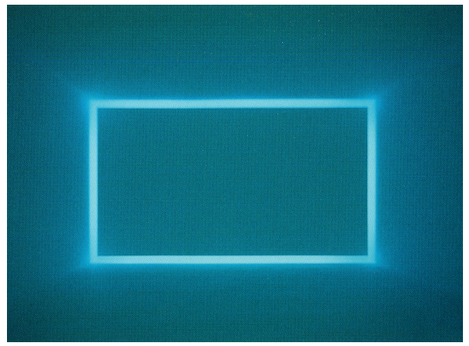
「ラファエル前派とその展開」バーン＝ジョーンズ



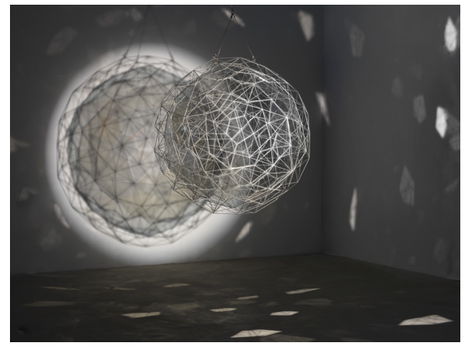
エドワード・コーリー・バーン＝ジョーンズ《愛と巡礼者》1896–97年　油彩/カンヴァス　Photo:Tate

「光のインスタレーション」タレル、エリアソン

インスタレーションとは、空間全体を作品とするもの。会場で光の体験を。



ジェームズ・タレル《レイマー、ブルー》1969年
LEDライト　© 2023 James Turrell. Photograph by Florian Holzherr.



オラファー・エリアソン
《星くずの素粒子》2014年
ステンレス・スチール、半透明のミラー、
ワイヤー、モーター、スポットライト
直径170 cm
Photo: Jens Ziehe, 2017, © 2014 Olafur Eliasson

日本会場限定出品

ゲルハルト・リヒター、マーク・ロスコなど12点が日本会場特別出品

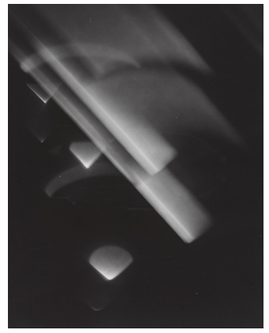


ゲルハルト・リヒター《アブストラクト・ペインティング（726）》1990年
油彩／カンヴァス　（日本初出品）　Photo:Tate, © Gerhard Richter 2023 (10012023)

テート美術館所蔵、日本人作家の作品が登場



山脇 巌
《無題（たまごと紐のコンポジション、バウハウス）》
1930–32年　ゼラチン・シルバー・プリント
Photo:Tate, © Makoto Yamawaki, 2023



ハナヤ勘兵衛
《光B》1930年制作、1970年代にプリント
ゼラチン・シルバー・プリント
Photo:Tate, © Keiji Kuwata

誰もが知るあの作家が中之島に集結



ジェームズ・アボット・マクニール・ホイッスラー
《ペールオレンジと緑の黄昏――バルパライソ》1866年
油彩／カンヴァス　Photo:Tate



クロード・モネ
《エプト川のポプラ並木》1891年
油彩／カンヴァス　Photo:Tate



ヴィルヘルム・ハマスホイ
《室内》1899年
油彩／カンヴァス　Photo:Tate



ワシリー・カンディンスキー
《スウィング》1925年
油彩／板　Photo:Tate



音声ガイド

本展アンバサダーは板垣李光人（りひと）さん。

りひと（Licht）とはドイツ語で「光」。音声ガイドなど様々なかたちで本展を応援していただきます。

「光」とは我々の中にあるのではと思っています。雲ひとつない青空に燦々と輝く太陽の光、全身を突き抜ける爽やかな光に感じる時もあれば、信じられないほどにけたたましく疎ましい光に感じる時もあります。そんな人間の中にある見えない光を可視化出来るものがアートなのではないでしょうか。時代を、年齢を、性別を越え、その刹那に宿る光をアートとして放った作品たちが並ぶと思うと胸の高鳴りが止まりません。そしてLichtという名を持つ自分がこの企画展に関わらせていただけること、大変光栄に思います。黒は光や環境によって無限の表情を魅せる色だと考えています。そんな黒を携え街中にそびえる大阪中之島美術館にてこの展覧会が行われるということは、とても運命的なのではないでしょうか。《SHIP'S CAT（Muse）》へのご挨拶も兼ねて、機会を作り、是非伺いたいものです。

ナレーター：羽多野渉（声優）

番外編：田村真子（TBSアナウンサー）
田中瞳（テレビ東京アナウンサー）

貸出料金：650円（税込）※お一人様一台につき
約35分

展覧会ホームページで
試聴ができます。 ▶▶▶▶

観覧料

料金は全て税込、未就学児無料

料金	一般	高大生	小中生
当日	2,100円	1,500円	500円
前売・団体	1,900円	1,300円	300円

［おかわり割引］
有料観覧券の半券をお取り置きいただき、2回目以降のご来場時にご提示いただくと200円割引でご入場いただけます。

［ファミリーデー］
10/28（土）、29（日）、12/23（土）、24（日）は、小中生の本展観覧料が無料です（保護者同伴に限る）。

＊前売券の販売は10月25日（水）まで。＊団体鑑賞（20名以上）をご希望の場合は事前に美術館公式ホームページから団体受付フォームにてお問い合わせください。＊学校団体の場合はご来場の4週間前までに美術館公式ホームページ学校団体見学のご案内からお申し込みください。＊障がい者手帳をお持ちの方（介護者1名を含む）は当日料金の半額（要証明）。ご来館当日、2階のチケットカウンターにてお申し出ください（事前予約不要）。＊一般以外の料金で観覧される方は証明できるものを当日ご提示ください。＊本展覧会は大阪市内在住の65歳以上の方も一般料金が必要です。＊事前予約制ではありません。展示室内が混雑した場合は入場を規制することがあります。＊災害、メンテナンス等で臨時休館する場合があります。最新情報は美術館公式ホームページ等をご確認ください。
【主なチケット販売場所】展覧会ホームページ、美術館公式ホームページ、ローソンチケット（Lコード：54508）、チケットぴあ（Pコード：686-585）、セブンチケット（セブンコード：102-050）、楽天チケット、イープラス、CNプレイガイドほかで販売（チケット購入時に手数料がかかる場合があります）。

関連イベント

①特別講演会

2023年11月23日（木・祝）　14時～15時30分
「美術における光と闇」
登壇者：宮下規久朗（神戸大学大学院 人文学研究科 教授・美術史家）

②講演会

2023年12月16日（土）　14時～15時
「テート美術館展　光　ーターナー、印象派から現代へ」のみどころ
登壇者：國井綾（大阪中之島美術館 主任学芸員）

◎場所：大阪中之島美術館　1階ホール　◎定員：150名（先着順、事前申し込み不要）　◎料金：無料。ただし本展の観覧券（半券可）が必要。

③「光」を彩る音楽のひととき

2023年11月12日（日）　14時開演
演奏：伊藤悠貴（チェロ）、中村愛（ハープ）



© T.Tairadate　© R.Kojima

◎場所：大阪中之島美術館　1階ホール
◎定員：200名（先着順、事前申し込み不要）13時より1階ホール前にて整理券を配布します。
◎料金：無料。ただし本展の観覧券（半券可）が必要。

④担当学芸員によるギャラリートーク

1 — 2023年11月18日（土）
10時30分～11時30分

2 — 2024年1月6日（土）
10時30分～11時30分

＊要事前申し込み。詳細は美術館公式ホームページをご覧ください。

大阪中之島美術館のイベント

そのほか、多数のイベントを実施予定。
詳細は美術館公式ホームページを
ご覧ください。

①イルミネーション

11月1日（水）～2024年2月29日（木）（予定）　17時～22時
◎場所：大阪中之島美術館　2階芝生広場

大阪中之島美術館の守り神「SHIP'S CAT（Muse）」と
イルミネーションのコラボレーションをお楽しみください。

②ふたつのマルシェ

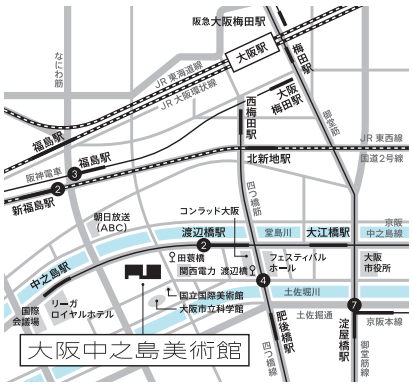
秋のナッカマルシェ――11月4日（土）、5日（日）　11時～17時
クリスマスナッカマルシェ―12月23日（土）、24日（日）　12時～18時
◎場所：大阪中之島美術館　2階芝生広場

季節の有機野菜販売や、子ども向け縁日を開催。

［交通アクセス］

京阪 ―― 中之島線 渡辺橋駅（2番出口）より南西へ徒歩約5分、淀屋橋駅（7番出口）より西へ徒歩約15分
Osaka Metro ―― 四つ橋線 肥後橋駅（4番出口）より西へ徒歩約10分、御堂筋線 淀屋橋駅（7番出口）より西へ徒歩約15分
JR ―― 大阪環状線 福島駅／東西線 新福島駅（2番出口）より南へ徒歩約10分
阪神 ―― 福島駅より南へ徒歩約10分
大阪シティバス ― JR大阪駅前より53号・75号系統で「田蓑橋」下車、南西へ徒歩約2分
＊お帰りのJR大阪駅方面への便利なバス停は「渡辺橋」になります。

＊美術館には有料駐車場があります（割引サービスはありません）。詳細は美術館公式ホームページをご覧ください。



展覧会ホームページ
https://tate2023.exhn.jp/

展覧会Twitter
@Tate2023Exhn

［同時開催］
◎特別展 生誕270年 長沢芦雪
―奇想の旅、天才絵師の全貌―
2023年10月7日（土）～12月3日（日）
◎決定版！ 女性画家たちの大阪
2023年12月23日（土）～2024年2月25日（日）

本展の有料観覧券（半券可）のご提示で
上記展覧会を200円引きで
ご観覧いただけます。

〒530-0005　大阪市北区中之島4-3-1　https://nakka-art.jp
［お問い合わせ］大阪市総合コールセンター（なにわコール）06-4301-7285
［受　付　時　間］8:00-21:00（年中無休）

大阪中之島美術館
NAKANOSHIMA MUSEUM OF ART, OSAKA